

プログラム番号	09002
---------	-------

平成21年度「国費外国人留学生(研究留学生)の優先配置を行う特別プログラム」

【1. 大学の概要】

①大学名 研究科名	国立大学法人 東京大学 工学系研究科		
②学長名	濱田 純一		
③所在地	〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1		
④担当者 連絡先	所属部局・職名	工学系研究科 技術経営戦略学専攻 教授	
	担当者氏名	元橋 一之	e-mailアドレス motohashi@tmi.t.u- tokyo.ac.jp
	電話・FAX番号	03-5841-1901/03-5841-1902	
⑤ホームページ URL	http://tmi.t.u-tokyo.ac.jp/english/admission/asiaprogram.html		
⑥大学院在学留学生数	806人（うち、国費留学生355人）		

【2. プログラムの概略】

①プログラムの名称	国際技術経営プログラム
②プログラムの形態	修士課程（2年）＋博士課程（3年）
③交流形態・受入体制	プログラム実施大学が単数
④実施研究科・専攻	工学系研究科 技術経営戦略学専攻
	（所在地）東京都文京区本郷7-3-1
⑤連携大学・研究科・専攻名	なし
⑥受入れ学生数	37人（修士35人、博士2人） （うち研究留学生優先配置人数：5人（修士5人、博士0人）） （うち日本人学生数：25人（修士25人、博士0人））
⑦担当教員数	合計41人（うち専任：10人、兼任：13人、特任教授：8名、非常勤：10人）
⑧研究科長(代表者)名	所属部局・職名 工学系研究科・研究科長
	研究科長名 保立 和夫

【3. プログラムの内容】

【概要】

本プログラムでは、日本におけるビジネスや技術経営に興味のある外国人留学生に対し、技術経営戦略学の専門教育について、英語・日本語の両方で学べる教育（英語・日本語シームレス教育）環境を整備することによって、日本企業のグローバル化において必要な、中核的な外国人人材を育成することを目的とする。また、英語でも学べる専門教育環境とともに、日本で就職する際に必要とされる日本語能力の習得を目指しビジネス日本語教育やキャリアコーディネーターによる日本企業に対する就職活動のサポートを行い、修士課程修了後の日本での定着を支援する。

【内容と特徴】

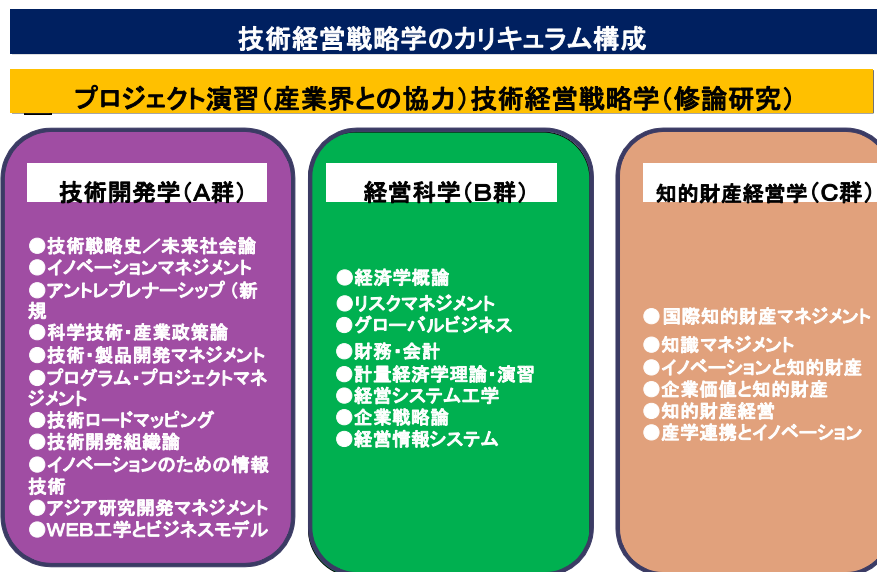
本プログラムにおいては専門教育の英語・日本語シームレス教育を実施する。英語・日本語シームレス教育とは、①英語で実施される授業の設置、②日本語で実施される授業科目においても教材やプレゼンテーション資料の2ヶ国語化（英語・日本語）を整備することにより、来日時に日本語のあまり得意でない学生においても、初年度、英語の授業をうけながら、専門教育の授業を通じて日本語能力を高めていくことができることを目指したものである。

「国際技術経営プログラム」は、この英語・日本語シームレス教育をベースとして、外国人留学生に対して、日本の技術経営に関する大学院教育の門戸を開くものである。日本ビジネスに興味がある外国人留学生が、本専攻修了後、日本企業へ就職するなどして日本定着がなされることを考えていくと、やはり、日本語についてもビジネスシーンで通用する一定の日本語能力をつけさせることが必要であると考え。このような発想から生まれたのが、英語だけでなく、日本語だけではないという英語・日本語のシームレス教育である。

「国際技術経営プログラム」の具体的なカリキュラムとしては、専門科目（技術経営戦略学専攻※の科目要件を満たすことが必要）と補助的な科目としてのビジネス日本語で構成される。

専門科目について、技術経営戦略学専攻においては、以下の技術開発学（A群）、経営科学（B群）、知的財産経営学（C群）の3つのカテゴリーで専門科目を提供しており、修士課程については、最低限、A群から3科目、B群から3科目、C群から1科目の履修が要求されている。

そのため、上記の履修要件に対応する科目数について英語の講義を用意し、他の科目については授業資料を二カ国語で用意するなど、来日当初日本語が得意でない学生にも配慮したカリキュラムとなっている。



※工学系研究科 技術経営戦略学ウェブサイト：<http://tmi.t.u-tokyo.ac.jp/english/>（英語）
<http://tmi.t.u-tokyo.ac.jp/>（日本語）

ビジネス日本語については、日本企業で仕事をする際に必要とされる日本語能力、ビジネスレベルで通用する日本語の技能を習得させることを目指したものである。

【募集】

選考方法、願書の提出等、募集についての詳細は以下のウェブサイトに最新版が掲載されているので、下記URLを参照のこと。

<http://tmi.t.u-tokyo.ac.jp/english/admission/itmp.html>

次年度の10月入学希望者の願書の締め切りは、12月31日。TOEFL とGER（ゼネラルテスト）の成績が出願時に必要。事前に必ず受験のこと。

【使用言語】

英語と日本語：海外から来日して間もない学生に対しては英語、来日2年目以降は原則として日本語（ただし、語学に特段の問題がある場合は英語）で対応。

【インターンシップ】

日本企業でのインターンシップを希望する学生については、下記の協力企業へのインターンシップの紹介を行う。

- ・ エレクトロニクス関連：日本電気、日立製作所、富士通、三菱電機
- ・ 自動車：日産自動車
- ・ 商社：三井物産、三菱商事
- ・ 国際弁理士事務所：笹島内外特許事務所、秀和特許事務所、創成国際特許事務所、
太陽国際特許事務所、リバーフロー国際特許事務所
- ・ 化粧品：カネボウ化粧品、資生堂
- ・ IT&サービス：トランスコスモス、野村総合研究所
- ・ 金融：三菱東京UFJ銀行

【想定される進路やフォローアップ体制】

日本企業を中心としてなるべく日本において就職できるよう、キャリアコーディネーターによる就職支援を行う。具体的には、就職活動に実践的に役立つ日本語プログラムの内容企画、インターンシップ支援等きめ細やかに支援を行う。また、アルムナイ活動を通じた卒業後のフォローアップや留学生の採用企業との情報交換を継続的に実施し、留学生のプログラム修了後の日本定着にも配慮したフォローアップを実施する予定。

なお、これまで修士課程を修了した留学生はいずれも日本において就職できている。